

# 140字の読書界

## 地歴科有馬おすすめの「福井に縁のある文学」本

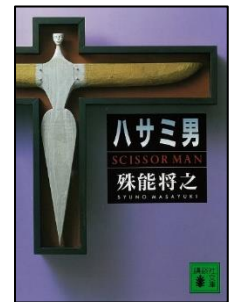
- 1** 書名：2.43 清陰高校男子バレー部 [藤高蔵書 ○]  
 著者：壁井ユカコ (かべい ゆかこ)  
 発行：集英社文庫

2.43はバレーボールのネットの高さで、日本家屋の和室の天井くらい。この本は、福井の中学・高校を舞台にした青春スポーツ小説なので、福井弁が飛び交います。ちなみに、バレーボール全日本男子代表監督の中垣内祐一氏は本校OBですが、wikipediaによると現役時代の最高到達点は346cmとのこと。



- 2** 書名：ハサミ男 [藤高蔵書 ○]  
 著者：殊能将之 (しゅのう まさゆき)  
 発行：講談社文庫

本校OBである著者のデビュー作であり、第13回メフィスト賞を受賞したミステリー小説の傑作。長々と紹介すると余計なことを書いてしまうので、内容紹介は割愛。若くして亡くなられたのが、本当に残念です。ミステリー好きの人は、ぜひ手に取ってみてください。



- 3** 書名：神さまたちの遊ぶ庭 [藤高蔵書 ○]  
 著者：宮下奈都 (みやした なつ)  
 発行：光文社文庫

宮下家の5人が、北海道のトムラウシに一年間山村留学した顛末記。宮下作品には素敵な小説がたくさんありますが、私の一番好きな本は、このエッセイ本。東京出張の帰りの新幹線で、笑いをこらえるのに苦労しながら読んだことを思い出します。本校図書館にある宮下さんの色紙のメッセージも、私は好きです。



- 4** 書名：からすのパンやさん [藤高蔵書 ○]  
 著者：かこ さとし  
 発行：偕成社

子どもの頃に好きだった絵本はたくさんありますが、かこさんの作品は特に印象に残っています。見開きページいっぱい並んだ小さい絵を見ると、なぜか嬉しい。父が私に繰り返し読んでくれたように、私も子どもに何度も読みました。そうやって読み継がれる名作なのでしょうね。

